

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,471千円	8,559千円	11,236千円	0千円
	総人件費	4,552千円	8,315千円	7,422千円	
	総事業コスト	13,023千円	16,874千円	18,658千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	12	コミュニティ推進事業に要する経費

事務事業名	01 花と緑の美化活動事業			指標名	市民参加人数				指標種別	成果指標	指標の概要	花植え等参加人数 (平成29年度より、春・秋のセンター地区花壇づくり参加者数と夏の美化活動の参加者数を合計した参加人数に変更)				
	戦略プラン	7	1	住環境の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度		
総合戦略	3	1	地域コミュニティの活性化と市民協働の推進	実績	150人	162人	200人									
個別計画	つくば市きれいなまちづくり第3次行動計画 第2次つくば市環境基本計画			H28年度				H29年度				その他の指標	各地区花壇づくり参加団体数			
	事業分類	A 任意的事業			改善目標	市民団体を交えた実行委員会を組織化するための検討を行い、花植え参加団体を増やして美化意識向上を高めるとともに参加者増を目指す。				改善目標	県と協力して、いきいき茨城ゆめ国体(H31開催)「花いっぱい運動」への市民団体の参加を促進する。花の設置場所の見直しや花の管理団体を募集・選定するなど、大会を契機に検討する。					
事業の目的	参加者が自主的に花壇活動を行うことで、まちの環境美化意識を高めるとともに地域のコミュニティの活性化を図るため。			事業計画	4月23日 春のセンター地区花壇づくり 6月2日・3日 春の花苗配布(筑波地区団体は別日程) 8月6日 夏のセンター地区美化活動 10月中旬～下旬 秋のセンター地区花壇づくり 11月2日・4日 秋の花苗配布(筑波地区団体は別日程)				事業計画	5月20日 春のセンター地区花壇づくり 6月7日・8日 春の花苗配布(筑波地区団体は別日程) 8月5日 夏のセンター地区美化活動 10月14日 秋のセンター地区花壇づくり 11月7日・8日 秋の花苗配布(筑波地区団体は別日程)						
事業の概要	センター広場やTX駅前などの公共的な空間を季節の花で飾るとともに、花壇を維持管理することで市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信する。 センター地区については参加を希望する市民団体を募り、春と秋の2回花の苗を植えてもらったり、夏には草取りやゴミ拾い等も1回行っている。また、各地区の公共的な場所には、春と秋の2回花の苗を配布して市民団体に花苗配布を実施。			活動実績	4月23日 G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催記念春のセンター地区花壇づくりを実施(約200名参加、計2,825ポットの花苗を設置) 5月8日～6月10日 春の花苗配布を実施(117団体に配布、計9,775ポットの花苗を設置) 8月7日 夏のセンター地区美化活動(約50名参加) 10月16日 秋のセンター地区花壇づくりを実施(約150名参加、計2,000ポットの花苗を設置) 10月21日～11月4日 秋の花苗配布を実施(119団体に配布、計9,200ポットの花苗を設置)				上半期活動実績	-						
ISO 14001	H28環境関連性	-			成果	市民の手で、センター地区及び市内各地の花壇づくりを行うことで、市民の環境美化意識の向上が図れた。G7茨城・つくば科学技術大臣会合の開催に伴い、センター地区花壇づくりでの植栽場所と花苗数(750株増)を拡充し、歓迎の機運を高めることができた。市報やFacebookに掲載するとともに、新聞2社が取り上げ、広く周知を図れた。				上半期成果	-					
	H29環境関連性	-			課題	市民との協働という観点で、市民を交えた事業運営の方法を検討する必要がある。				課題	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	H30年度当初積算根拠		
	H29環境関連性	-			評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している		評価	有効性	-					
												事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
												事業費(A)	5,959千円	6,049千円	6,426千円	0千円
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
												その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
												一般財源	5,959千円	6,049千円	6,426千円	0千円
												人件費(B)	1,537千円	5,291千円	4,447千円	
												正職員	従事割合	0.20人	0.70人	0.60人
												内訳	時間外勤務	19.00時間	61.00時間	19.00時間
												臨時職員等	無	無	無	
												事業コスト(A+B)	7,496千円	11,340千円	10,873千円	
												H30年度当初積算根拠	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,471千円	8,559千円	11,236千円	0千円
	総人件費	4,552千円	8,315千円	7,422千円	
	総事業コスト	13,023千円	16,874千円	18,658千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	12	コミュニティ推進事業に要する経費

事務事業名	02	コミュニティ助成事業	指標名	市から事業申請する区会数				指標種別	成果指標	指標の概要	市から事業申請する区会数										
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		H31年度	H32年度	目標値	2区会	2区会	2区会	2区会	2区会	2区会		
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				実績	2区会	2区会	2区会				その他の指標	-
個別計画	-	-	-	-	改善目標				改善目標				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
根拠法令等	つくば市コミュニティ活動支援補助金交付要項				事業計画				事業計画				事業費(A)	2,500千円	2,500千円	4,800千円	0千円				
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績				活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	職員のみ				成果				成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るため。				課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ組織に必要な備品の整備に対して助成を行う事業である。申請は、つくば市・茨城県経由で行われ、補助金は、コミュニティ組織2団体を上限に交付される。市から事業申請できるコミュニティ組織は抽選によって決定する。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	2,500千円	2,500千円	4,800千円	0千円				
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円					
	H29環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	有効性	-	人件費(B)	1,486千円	1,512千円	1,466千円							
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-	効率性	-	正職員	0.20人	0.20人	0.20人							
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-	総合評価	-	時間外勤務	0.00時間	17.00時間	0.00時間							
											臨時職員等	無	無	無							
											事業コスト(A+B)	3,986千円	4,012千円	6,266千円							
											H30年度当初積算根拠										
											H30年度の方向性	-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,471千円	8,559千円	11,236千円	0千円
	総人件費	4,552千円	8,315千円	7,422千円	
	総事業コスト	13,023千円	16,874千円	18,658千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	12	コミュニティ推進事業に要する経費

事務事業名	03 大好き いばらき 県民会議	指標名	ネットワークの各種イベント等への参加回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	ネットワークの各種イベント等への参加回数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		実績	5回	6回	6回	6回	6回	6回	6回							
総合戦略	- - - -		6回	8回	7回					その他の指標	大好きいばらき県民運動を活性化させる人材として、各地域で市民活動を実施する意欲のある人物を茨城県が募り、市長の推薦をもって、茨城県が委嘱している(任期3年)ネットワーク(地域活動推進員)の人数。					
個別計画	-	改善目標	H28年度 現在、茎崎ネットワークの会と他地区のネットワークが、それぞれに活動しているため、市全体の協議会を立ち上げるべく会員の交流の機会を設け、情報共有を進めるとともに、増員を図り、協議会立ち上げに向けて話し合いを進めていく。				H29年度 現在、茎崎ネットワークの会と他地区のネットワークが、それぞれに活動しているため、市全体の協議会を立ち上げるべく会員の交流の機会を設け、情報共有を進めるとともに、増員を図り、協議会立ち上げに向けて話し合いを進めていく。									
根拠法令等	-	事業計画	4月23日 春のセンター地区花壇づくり参加 8月27日または28日 まつりつくばでの啓発活動 10月中旬～下旬 秋のセンター地区花壇づくり参加 つくば市ネットワーク交流会 ネットワーク活動推進大会への参加 ネットワーク活動推進大会県南ブロックへの参加				5月20日 春のセンター地区花壇づくり参加 8月26日または27日 まつりつくばでの啓発活動 10月14日 秋のセンター地区花壇づくり参加 つくば市ネットワーク交流会 ネットワーク活動推進大会への参加 ネットワーク活動推進大会県南ブロックへの参加									
事業分類	A 任意的事業	活動実績	4月23日 G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催記念春のセンター地区花壇づくり 8月27日 まつりつくばでの啓発活動 10月16日 秋のセンター地区花壇づくり 11月16日 ネットワーク活動推進大会(日立市) 2月15日 (県南ブロック)ネットワーク活動推進大会(土浦市) 2月28日 つくば市ネットワーク交流会 3月28日 大好きいばらきネットワーク委嘱状交付式(水戸市)				上半期活動実績									
執行体制	職員のみ	成果	まつりつくばでの啓発活動によって、市民に対して大好きいばらき県民運動のPRを行うとともに、会員間の交流が図れた。また、つくば市ネットワーク交流会において「梅まつりミニジオツアー」に参加したことで、ネットワーク同士の交流を深めるとともに、筑波山地域ジオパークに関する知識を深めることができた。また、新規ネットワークとして2名が委嘱された。				上半期成果									
事業の目的	福祉や環境など様々な分野で活動している団体や企業・行政とが連携し、優しさやふれあいのある郷土づくりを目的として、地域における多様な活動を支援し、県民が主役のいばらきを実現するため。	課題	現在、茎崎ネットワークの会と他地区のネットワークがそれぞれに活動しているため、市全体の協議会を立ち上げるべく、今後も話し合いを進めていく必要がある。また、他地区のネットワーク会員増を図る必要がある。				課題									
事業の概要	地域コミュニティの再生、活性化、県民によるボランティア活動の推進。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-							
ISO 14001	H28環境関連性	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-							
	H29環境関連性		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
											事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
											事業費(A)	12千円	10千円	10千円	0千円	
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
											一般財源	12千円	10千円	10千円	0千円	
											人件費(B)	1,529千円	1,512千円	1,509千円		
											正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人	
											内訳	時間外勤務	16.00時間	17.00時間	16.00時間	
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	1,541千円	1,522千円	1,519千円		
											H30年度当初積算根拠					
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,459千円	1,502千円	1,797千円	0千円
	総人件費	4,551千円	4,534千円	4,489千円	
	総事業コスト	6,010千円	6,036千円	6,286千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	13	人権擁護に要する経費

事務事業名	01 人権擁護事業				指標名	人権講演会来場者率				指標種別	成果指標			指標の概要	イベント当日の来場者数が、開催会場の収容人数から算出した定員の86%以上となることを目標とする。 (平成29年度は、豊里体育館を使用、収容力から定員を50名と設定した。)			
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
総合戦略	-	-	-	-	実績	85.9%	83.5%	85.1%							その他の指標	人権啓発イベント来場者のうち、10～20代の来場者の割合が5%以上となることを目標とする。		
個別計画	-	-	-	-	改善目標	H28年度 人権講演会の当日の来場者が、会場定員の86%以上を目指す。また、引き続き10～20代の来場者の割合について、5%以上を目指す。				H29年度 人権啓発イベント当日の来場者が、会場定員の86%以上を目指す。また、引き続き10～20代の来場者の割合について、5%以上を目指す。								
根拠法令等	-	-	-	-	事業計画	特設人権相談所：6月1日・7日、12月9日・12日につくば市役所で実施。 人権啓発：「第66回社会を明るくする運動つくば市大会」街頭キャンペーン(7月16日) 人権教室：学校長会で説明を行い、小中学校の希望調査を行い実施。 人権講演会：11月19日。				特設人権相談所：6月1日・6日、12月5日・6日につくば市役所で実施。 人権啓発：「第67回社会を明るくする運動つくば市大会」街頭キャンペーン(7月9日) 人権教室：学校長会で説明を行い、小中学校の希望調査を行い実施。 人権啓発イベント：障害者スポーツ体験教室を平成30年1月下旬から2月中旬に開催。定員50名				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業				活動実績	特設人権相談所：6月1日・7日に実施し、15件の相談を受け、12月9日・12日に実施した時は、4件の相談を受けた。 街頭啓発：7月16日の「第66回 社会を明るくする運動つくば市大会」街頭キャンペーンを実施した。(約80名参加) 人権教室：学校長会で説明を行い、小中学校の希望調査を行い、小学校16校、中学校7校で実施した。 人権講演会：11月19日に宮川俊二氏を講師に迎え講演会を開催した。来場者数315名(10～20代 12名 5.3%)				上半期活動実績				事業費(A)	1,459千円	1,502千円	1,797千円	0千円
執行体制	職員のみ				成果	特設人権相談所では、19件の相談を受けた。「第66回社会を明るくする運動つくば市大会」街頭キャンペーンでは、多くの市民の人権意識の高揚を図れた。 人権擁護委員15名を講師として、小中学校合わせて1,579名に人権教室を実施し、市内小中学生の人権意識を高めることが出来た。人権講演会では、315名が来場し広く人権意識の高揚を図れた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	人権の大切さ、命の大切さを広く啓発することで、市民の人権意識の高揚を図り、差別のない明るい社会の実現を目指すため。				課題	人権講演会の参加者増を図るため、講師の選定も含め、区会回覧やホームページ等で広く啓発を実施する。人権教室の校数が増え、人権擁護委員のスケジュールが過密になってきている。				課題				県支出金	0千円	0千円	550千円	0千円
事業の概要	6月と12月に2ヶ所で特設人権相談所を開設する。年間を通じて、いじめや差別などの人権問題解消に向け啓発活動を行う。申し込みのあった学校で人権擁護委員が講師となり人権教室を行い、人権意識の向上を図る。毎年、著名人を講師に迎え人権講演会を開催し、人権意識の高揚を図る。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-	一般財源	1,459千円	1,502千円	1,247千円	0千円	
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-	人件費(B)	4,551千円	4,534千円	4,489千円		
												正職員	従事割合	0.60人	0.60人	0.60人		
												時間外勤務	35.00時間	52.00時間	35.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	6,010千円	6,036千円	6,286千円			
												H30年度当初積算根拠	H30年度当初積算根拠					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,269千円	1,268千円	1,326千円	0千円
	総人件費	3,037千円	3,022千円	1,530千円	
	総事業コスト	4,306千円	4,290千円	2,856千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	14	更生保護に要する経費

事務事業名	01 更生保護事業				指標名	啓発活動参加者数				指標種別	成果指標				指標の概要	社会を明るくする運動つくば市大会の参加者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績		60人	77人	80人		
総合戦略	-	-	-	-		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標					改善目標	社会を明るくする運動つくば市大会をより効果的な事業とするため、開催場所の検討を行うとともに参加者増を目指す。				改善目標	社会を明るくする運動つくば市大会をより効果的な事業とするため、H30年度の大会に向けた改善目標として、一般市民が参加できる形にイベント内容を変えていく。									
個別計画					事業計画	4月27日 つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会 5月24日 つくば市更生保護女性会総会 7月16日 第66回社会を明るくする運動つくば市大会 10月12日 更生保護女性会県南ブロック研修会 11月9日 茨城県更生保護大会 県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会 H29年3月6日 茨城県更生保護女性のつどい 更生保護女性会県南ブロック研修会				4月20日 つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会 4月25日 つくば市更生保護女性会総会 7月9日 第67回社会を明るくする運動つくば市大会 茨城県更生保護大会 県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会 茨城県更生保護女性のつどい 更生保護女性連盟県南ブロック研修会				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
根拠法令等						活動実績	4月27日 つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会、社会を明るくする運動つくば市推進委員会 5月19日 社会を明るくする運動県推進委員会 5月24日 つくば市更生保護女性会総会 7月16日 社会を明るくする運動つくば市大会(約80名参加)を開催。講師：少年サポートセンターつくば 根守由美子氏。テーマ「少年非行の状況について」。 10月12日 更生保護女性連盟県南ブロック研修会 11月9日 茨城県更生保護大会 2月22日 県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会 3月6日 茨城県更生保護女性のつどい				上半期活動実績				事業費(A)	1,269千円	1,268千円	1,326千円	0千円	
事業分類	C 義務的事業				成果	保護司、更生保護女性会会員の資質向上、地域でのネットワーク構築が図れた。各団体(保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員、青少年相談員ほか)との連携及び啓発活動の強化が図れた。保護司会に負担金、更生保護連合会に補助金を支出し、更生保護活動の充実が図れた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ				課題	社会を明るくする運動つくば市大会の開催場所について、より効果的な啓発のためセンター地区以外での開催も検討する必要がある。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	罪を犯した人たちの更生を助けるとともに、犯罪の未然防止や青少年の健全育成に努め、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	つくば地区保護司会とつくば市更生保護女性会で構成されるつくば市更生保護連合会が連携を図りながら、連合会の活動支援や、つくば地区更生保護サポートセンターの運営協力及び「社会を明るくする運動つくば市大会」の開催等を実施。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	一般財源	1,269千円	1,268千円	1,326千円	0千円	人件費(B)	3,037千円	3,022千円	1,530千円	
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	内訳	正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.20人				
	H29 環境関連性	-	-	-	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	評価	総合評価	-	内訳	時間外勤務	24.00時間	34.00時間	24.00時間	臨時職員等	無	無	無	
											事業コスト(A+B)	4,306千円	4,290千円	2,856千円	H30年度当初積算根拠	-				
															H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	1,294千円	1,548千円	1,800千円	0千円
	総人件費	3,066千円	3,022千円	1,559千円	
	総事業コスト	4,360千円	4,570千円	3,359千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民活動係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	16	非核平和都市宣言に要する経費

事務事業名	01 非核平和都市宣言事業				指標名	事業参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	平和体験教室参加者数									
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績		40人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人		
総合戦略	-				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	平和パネル展来場者数										
	個別計画	-				事業計画	7月 平和体験教室の実施。(小学生対象) 8月8日～10日 青少年ピースフォーラム派遣事業の実施。(中学生対象)研修先に鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館を加え平和学習の充実を図る。 11月初旬 平和パネル展の実施。(市民対象)				8月1日 平和体験教室の実施。(小学生対象) 8月7日～9日 青少年ピースフォーラム派遣事業の実施。(中学生対象) 11月初旬 平和パネル展の実施。(市民対象)														
根拠法令等	-				活動実績	7月26日 平和体験教室(36名参加) 7月31日 青少年ピースフォーラム事前研修会 8月4日 青少年ピースフォーラム参加者オリエンテーション 8月8日～10日 青少年ピースフォーラム派遣事業の実施(筑波東中学校, 谷田部中学校, 高山中学校のそれぞれから生徒2名, 教諭1名を派遣。全9名) 8月29日 青少年ピースフォーラム市長表敬訪問 11月5日～6日 平和パネル展(来場者14,364名)				上半期活動実績				内訳	事業実施コスト										
事業分類	A 任意的事業					成果	参加者が平和関連施設を見学し, 平和の大切さ・命の尊さについて考え, 理解を深めることで, 平和大使として啓発活動を行う自覚を持った。事前研修会に予科練平和記念館の見学を加え, 県南地域の戦時下の状況を学ぶことができた。ピースフォーラム派遣校での平和啓発活動が実施され, 学びのシェアが図れた。市報やHPの掲載や新聞への掲載(2回)により広く周知が図れた。				上半期成果				事業費(A)	1,294千円	1,548千円	1,800千円	0千円						
執行体制	職員のみ				課題	平和の大切さ・命の尊さを直接参加した生徒のみでなく, 他の生徒へ事業成果のシェアを継続していく。また平和事業の成果を市報等の広報媒体, 文化祭への出展(平和パネル展)等を通して, 市民に周知する。				課題				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
事業の目的	時代を担う子供たちに, 平和資料館などの施設見学や長崎市で行われるピースフォーラムに参加してもらい, 戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでもらうため。					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円						
	事業の概要	平和体験教室は, 市内小学生を対象に埼玉県平和資料館などの施設を見学して平和の尊さを学び, 実施後は報告書を作成し市立全小学校に配布。青少年ピースフォーラム派遣事業は, 長崎市で毎年行われる青少年ピースフォーラムや平和記念式典へ市内中学生を平和大使として派遣。					効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円						
ISO 14001		H28 環境関連性	-			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円						
	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況				事業の進捗状況				一般財源	1,294千円	1,548千円	1,800千円	0千円								
															人件費(B)	3,066千円	3,022千円	1,559千円							
															正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.20人						
															内訳	時間外勤務	35.00時間	34.00時間	35.00時間						
															臨時職員等	無	無	無							
															事業コスト(A+B)	4,360千円	4,570千円	3,359千円							
															H30年度当初積算根拠										
															H30年度の方向性	-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	145,769千円	150,450千円	161,827千円	0千円
	総人件費	22,284千円	22,570千円	15,540千円	
	総事業コスト	168,053千円	173,020千円	177,367千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	自治振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	17	自治会関係に要する経費

事務事業名	01	区会活動振興事業			指標名	区会加入世帯数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	区会加入世帯数								
戦略プラン	4	1	市民協働の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
総合戦略	3	1	地域コミュニティの活性化と市民協働の推進		実績	46,036世帯	46,148世帯	46,724世帯																
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	区会加入率を平成31年度に51%とし、平成27年度から5年間で1.3%の増加を目指す。										
事業分類	A	任意的事業			改善目標	市の住民基本台帳世帯数を分母として区会加入世帯数を分子とし、50%を超える。(H27年度49.7%)				改善目標				魅力ある地域コミュニティづくりを推進していくために、活発な区会活動の様子を紹介し、積極的にPRしていく。										
事業実施コスト	H27年度決算		H28年度決算		H29年度当初		H30年度当初		事業費(A)		145,724千円	150,405千円	161,771千円	0千円										
内訳	国庫支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円											
	県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円											
	地方債		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円											
	その他特財		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円											
	一般財源		145,724千円		150,405千円		161,771千円		0千円		人件費(B)		14,856千円	15,127千円	10,878千円									
内訳	正職員	従事割合	2.00人	2.00人	1.40人	時間外勤務		0.00時間	179.00時間	234.00時間	臨時職員等		無	無	無									
	事業コスト(A+B)		160,580千円	165,532千円	172,649千円	H30年度当初積算根拠																		
	H30年度当初積算根拠		理由																					
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 区会の積極的な加入及び市政運営についての理解を促すため。 地区コミュニティの活性化及びより良い地域社会の形成を図るため。 																							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 区会において行政文書の配布回覧を行う。区会活動の紹介や加入促進活動などで日頃から助けあえる地域コミュニティの大切さを啓発する。 老朽化した案内板を撤去する。 区会から申請を受け地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき、集会所の新築・増改築・修繕に対し補助を行う。 																							
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況				達成	事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況				-
評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-																
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-																
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-																

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	145,769千円	150,450千円	161,827千円	0千円
	総人件費	22,284千円	22,570千円	15,540千円	
	総事業コスト	168,053千円	173,020千円	177,367千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	自治振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	17	自治会関係に要する経費

事務事業名	02 市長・区長懇談会	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
	-		-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	/										
	-		H28年度				H29年度				その他の指標						
	-	改善目標	前年度の課題を基に、区会活動を通して身近に感じるテーマの選定に熟慮していく。				区会にとって身近に感じられる発表につながるテーマを選定していく。										
個別計画	-	事業計画	5月の市連合会役員会及び総会において周知し、市長や部長と協議してテーマを決定し、詳細について連合会と連絡を密にして発表者や時間配分等詳細を決定していき、段階的に構成を練っていく。				5月 市連合会役員会及び総会において周知 7月 市長・部長と協議しテーマを決定 8月 市連合会正副会議でテーマ等について連絡、発表者選定の依頼 9月 連合会と連絡を密にして、段階的に構成を練っていく。 10月 サミット開催										
根拠法令等	-	活動実績	8月8日、テーマを「協働のまちづくりの推進」、サブテーマを「区会が育む地域のきずな」「防犯から始まる地域のきずな」として開催。参加者は32名。6地区の代表区長がテーマに沿った事例を発表し、市長からのコメントを受けた。その後、意見交換が行われた。				上半期活動実績										
事業分類	A 任意的事業	成果	安全・安心で住みよいまちづくりに向けた活発な意見交換がなされた。また、新たな試みとしてスクリーンを使った発表を2名が行い、わかりやすかったと好評を得た。				上半期成果										
執行体制	職員のみ	課題	どのようなテーマが適当か、熟慮した選定が必要				課題										
事業の目的	地域の代表者である区長と市長とが懇談することで、意思の疎通を図り、住みよいまちづくりを目指すため。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-								
事業の概要	「市長・区長サミット」と称し、市区会連合会役員30名と市長が事前に決められたテーマに基づき懇談する。	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-										
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-										
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-										
ISO 14001	H28 環境関連性											H30年度当初積算根拠					
	H29 環境関連性											H30年度の方向性					
												理由					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	145,769千円	150,450千円	161,827千円	0千円
	総人件費	22,284千円	22,570千円	15,540千円	
	総事業コスト	168,053千円	173,020千円	177,367千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	自治振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	17	自治会関係に要する経費

事務事業名	03 地縁団体の認可事務				指標名	認可地縁団体に関する相談件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	認可地縁団体に関する相談件数						
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		その他の指標	-					
総合戦略	-	-	-	-	実績	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	改善目標	-							
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度					事業実施コスト	-						
根拠法令等	地方自治法				事業計画	認可地縁団体からの相談や各種申請に対し懇切丁寧に対応しつつ、また遅滞なく処理を行う。				事業計画	認可地縁団体からの相談や各種申請に対し懇切丁寧に対応しつつ、また遅滞なく処理を行う。				事業費(A)	-					
	事業分類	C 義務的事業				活動実績	認可地縁団体からの各種証明書の申請があり、証明書を発行した。また、認可申請に向けた相談に応じた。 相談件数 7件 (下萱丸, 台宿, 境田, デュオヒルズつくば竹園, 吉沼新地上町, 稲岡, 権下) 認可申請件数 1件(境田) 変更申請件数 9件 (古館, 鬼ヶ窪2, 椿本2, 岩崎2, 鬼ヶ窪, 下萱丸) 不動産登記申請件数 2件 台宿, 境田) 証明書交付件数 11件 (古館3, 台宿3, 境田, 鬼ヶ窪2, 下萱丸2)				上半期活動実績	-				国庫支出金	-				
執行体制	職員のみ				成果		地縁団体を認可し告示することにより、不動産に関する権利等を登記することが可能な法人格を有することができ、地縁団体の共有財産の保全が成された。					上半期成果	-				県支出金	-			
事業の目的	不動産登記が可能な法人格を有する地縁団体となることで、従来からの懸案事項であった、区会の代表者や役員共有の名義で所有している不動産(集会施設等)名義人が変更となった際に生じる不具合を解消するため。					課題	-				課題		-				地方債	-			
	事業の概要	・地縁団体からの認可申請に対し、地方自治法の規定に基づき法人化を有する団体として認可し告示をする。 ・つくば市認可地縁団体印鑑条例に基づき団体の印鑑を登録する。					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-		その他特財	-	
ISO 14001		H28 環境関連性	-			評価		有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性		-		一般財源	-				
	H29 環境関連性	-			効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		人件費(B)	3,714千円, 3,716千円, 2,331千円								
													正職員	従事割合	0.50人, 0.50人, 0.30人						
													内訳	時間外勤務	0.00時間, 20.00時間, 50.00時間						
													臨時職員等	無, 無, 無							
													事業コスト(A+B)	3,714千円, 3,716千円, 2,331千円							
													H30年度当初積算根拠	-							
													H30年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	17,640千円	17,892千円	19,647千円	0千円
	総人件費	15,126千円	15,432千円	14,920千円	
	総事業コスト	32,766千円	33,324千円	34,567千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民協働係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	20	市民協働推進に要する経費

事務事業名	01	市民協働まちづくり活動支援事業			指標名	団体等との協働事業実施数				指標種別	成果指標	指標の概要	庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら実施している事業数(茨城県生活環境部生活文化課県民運動推進室の「NPO等との連携・協働事業の実施状況等調査」と連携)								
戦略プラン	4	1	市民協働の推進		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度							
総合戦略	3	1	地域コミュニティの活性化と市民協働の推進		実績	82事業	101事業	130事業													
個別計画	-	-	-	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-						
事業分類	A	任意的事业			改善目標	NPO法人やボランティア団体等との協働によるまちづくりを推進し、連携強化を図るために、目標値(84件)を達成する。				-				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
事業の目的	市民協働ガイドラインに基づき、市民等との協働を推進することで、個性溢れる魅力あるまちづくりを目指すため。				事業計画	・市民の主体的な社会貢献活動を応援するとともに、市民と行政との協働を推進し、魅力あるまちづくりを目指して、協働の推進体制の整備・啓発活動や市民活動協働事業などを実施する。 ・茨城県生活環境部生活文化課県民運動推進室と連携し、庁内各課のNPO等の連携・協働事業の実施状況等調査を行う。また、SNS(フェイスブック)を活用し、市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信を行う。また、有効な情報拡散になるよう三者連携会議を実施する。				・市民の主体的な社会貢献活動を応援するとともに、市民と行政との協働を推進し、魅力あるまちづくりを目指して、協働の推進体制の整備・啓発活動や市民活動協働事業などを実施する。 ・茨城県生活環境部生活文化課県民運動推進室と連携し、庁内各課のNPO等の連携・協働事業の実施状況等調査を行う。また、SNS(フェイスブック)を活用し、市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信を行う。				事業費(A)	1,120千円	1,217千円	1,391千円	0千円			
事業の概要	行政が行う事業を法人各団体等に委託・補助等を行うことで、より効果的・効率的な事業を展開する。また、SNSを活用し、市民活動の情報共有するための基盤を整備することでコミュニティの活性化及び市民協働を図る。				活動実績	・庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら、事業を実施することができた。また、SNS(フェイスブック)活用のため、団体取材39回、イベント取材10回、区会取材10回、計59回の取材を行った。年間205回の投稿を行った。 ・茨城県生活環境部生活文化課県民運動推進室と連携し、NPO等との連携・協働事業の実施状況等調査を行った。 ・SNS(フェイスブック)を活用し、市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信を行った。 ・三者連携会議を5月30日、9月1日、12月5日、3月23日に行った。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	成果	NPO法人やボランティア団体等との連携・協働によるまちづくりを前年度よりも多く実施することができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
	H29環境関連性	-	-	-	課題	-				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	6,401千円	6,618千円	6,600千円	人件費(B)	5,281千円	5,401千円	5,209千円	
					評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人	内訳	時間外勤務	30.00時間	102.50時間	30.00時間
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		臨時職員等	有	有	有	事業実施コスト	6,401千円	6,618千円	6,600千円		
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		H30年度当初積算根拠	-				H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	17,640千円	17,892千円	19,647千円	0千円
	総人件費	15,126千円	15,432千円	14,920千円	
	総事業コスト	32,766千円	33,324千円	34,567千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民協働係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	20	市民協働推進に要する経費

事務事業名	02 市民活動センター管理運営事業	指標名	市民活動センター利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	市民活動センターを活用しながら市民活動を実施した人数																																																																	
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度																																																												
			12,600人	12,800人	13,000人	13,200人	13,400人	13,600人							13,800人																																																												
総合戦略	- - - -	実績	12,705人	13,154人	13,297人																																																																						
個別計画	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標																																																																
根拠法令等	公の施設の指定管理者の指定に関する条例・市民活動センター条例	事業計画	市民活動センター機能の充実を図りながら利用者目標値(13,000人)を達成する。				施設の環境改善を図るため、移転を視野に入れた調査・検討を実施する。																																																																				
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化に伴う修繕を行い施設の安心・安全の確保を図る。 事業計画書に基づき、市民協働の推進を図るための各種事業及び相談業務を行う。 施設の環境改善を図るため調査・検討を継続的に実施する。 				<ul style="list-style-type: none"> 指定管理期間終了に伴う指定管理者の募集を行う。 施設の老朽化に伴う修繕を行い、施設の安心・安全の確保を図る。 事業計画書に基づき、市民協働の推進を図るための各種事業及び相談業務を行う。 施設の環境改善を図るために、移転を視野に入れた調査・検討を継続的に実施する。 																																																																				
執行体制	指定管理者	成果	<ul style="list-style-type: none"> 市民ビジネスや市民活動に関する専門的な相談業務を実施するとともに、センター自主事業として市民活動フェスタ&こむせん市等を開催し、市民活動団体等への支援及び吾妻交流センターとの協働事業を行った。 つくばセンタービル連絡協議会への出席及び負担金の支払いを行った。 利用者の意見・要望等を施設運営の改善や事業の企画立案に役立てるため、利用者懇談会を2回開催した。 				<ul style="list-style-type: none"> 市民活動を行うために必要な機能の提供(会議室・印刷機・パソコンの貸出し等)やNPO等の活動情報の収集、NPO設立等に関する相談などを行い、市民が行う社会貢献活動支援を目的とした各種事業を行う。 つくばセンタービル連絡協議会に、市民活動センターの維持管理に必要な費用を専有面積(106.5㎡)に基づき、効率的な管理を推進するため負担する。 				<table border="1"> <tr> <td>事業実施コスト</td> <td>H27年度決算</td> <td>H28年度決算</td> <td>H29年度当初</td> <td>H30年度当初</td> </tr> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>13,828千円</td> <td>12,884千円</td> <td>12,924千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他特財</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>13,828千円</td> <td>12,884千円</td> <td>12,924千円</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>人件費(B)</td> <td>4,484千円</td> <td>4,630千円</td> <td>4,423千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員</td> <td>従事割合</td> <td>0.60人</td> <td>0.60人</td> <td>0.60人</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>時間外勤務</td> <td>10.00時間</td> <td>88.00時間</td> <td>10.00時間</td> </tr> <tr> <td>臨時職員等</td> <td></td> <td>無</td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>事業コスト(A+B)</td> <td>18,312千円</td> <td>17,514千円</td> <td>17,347千円</td> <td></td> </tr> </table>					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)	13,828千円	12,884千円	12,924千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源	13,828千円	12,884千円	12,924千円	0千円	人件費(B)	4,484千円	4,630千円	4,423千円		正職員	従事割合	0.60人	0.60人	0.60人	内訳	時間外勤務	10.00時間	88.00時間	10.00時間	臨時職員等		無	無	無	事業コスト(A+B)	18,312千円	17,514千円	17,347千円	
事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初																																																																							
事業費(A)	13,828千円	12,884千円	12,924千円	0千円																																																																							
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																							
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																							
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																							
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円																																																																							
一般財源	13,828千円	12,884千円	12,924千円	0千円																																																																							
人件費(B)	4,484千円	4,630千円	4,423千円																																																																								
正職員	従事割合	0.60人	0.60人	0.60人																																																																							
内訳	時間外勤務	10.00時間	88.00時間	10.00時間																																																																							
臨時職員等		無	無	無																																																																							
事業コスト(A+B)	18,312千円	17,514千円	17,347千円																																																																								
事業の目的	市民による主体的な社会貢献活動を支援するため、中間支援施設の拠点となる市民活動センターについて、指定管理者制度を活用しながら管理・運営を行うため。	課題	市民活動センターの利用者は年々増加している。施設の環境改善を図るため、移転を視野に入れた調査・検討を継続的に実施する必要がある。				課題				H30年度当初積算根拠																																																																
事業の概要	市民活動を行うために必要な機能の提供(会議室・印刷機・パソコンの貸出し等)やNPO等の活動情報の収集、NPO設立等に関する相談などを行い、市民が行う社会貢献活動支援を目的とした各種事業を行う。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度の方向性																																																																	
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				理由	-																																																														
	H29環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-																																																																			
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-																																																																			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	17,640千円	17,892千円	19,647千円	0千円
	総人件費	15,126千円	15,432千円	14,920千円	
	総事業コスト	32,766千円	33,324千円	34,567千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	市民活動課	市民協働係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	20	市民協働推進に要する経費

事務事業名	03 アイラブつくばまちづくり補助金事務				指標名	補助金採択事業数				指標種別	成果指標	指標の概要	補助金申請を受けて審査を行い採択された事業数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度		
実績	-	-	-	-	-	31事業	20事業	21事業	22事業	23事業	24事業	25事業					
総合戦略	-	-	-	-	-	実績	17事業	21事業	26事業								
個別計画	-				H28年度				H29年度				その他の指標	-			
	改善目標	啓発や相談の充実を図り、申請件数を増加させるための取組を行い、目標値(21事業)を達成する。				改善目標	啓発や相談の充実を図り、申請件数を増加させるための取組を行い、目標値(22事業)を達成する。										
根拠法令等	アイラブつくばまちづくり補助金交付要綱				事業計画	4月20日 第1回申請締切 5月中旬 第1回審査会 6月下旬 昨年度実践団体評価会 7月20日 第2回申請締切 8月上旬 第2回審査会 9月下旬 アイラブつくばまちづくりキャンペーン表彰式・フォーラム 10月20日 第3回申請締切 11月上旬 第3回審査会				4月20日 第1回申請締切 5月中旬 第1回審査会 6月下旬 昨年度実践団体評価 7月20日 第2回申請締切 8月上旬 第2回審査会 9月下旬 アイラブつくばまちづくりキャンペーン表彰式・フォーラム 10月20日 第3回申請締切 11月上旬 第3回審査会							
	事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	4月20日 第1回申請締切 20事業申請 5月24日 第1回審査会 20事業審査 7月4日 昨年度実践21事業評価 7月20日 第2回申請締切 1事業申請 8月17日 第2回審査会 1事業審査 9月24日 アイラブつくばまちづくりキャンペーン表彰式・フォーラム 参加者数92名 実践団体証21団体交付 NPO法人子どものための救命教室、サロンゆうゆうによる事例発表 総務省認定地域力創造アドバイザーの柘尾圭亮氏による講演 10月20日 第3回申請締切 5事業申請 10月31日 第3回審査会 5事業審査 平成28年度採択事業合計 26事業				上半期活動実績	-					
執行体制	補助金(直接)				成果	市民活動を行っている団体を応援するため、アイラブつくばまちづくり補助金交付要綱の改正を行い、補助金の上限額を30万円に増額した。その結果、申請団体が前年度より増加し26団体となった。また、前年度の事業評価を行い、「活動事例集」を作成した。アイラブつくばまちづくりキャンペーン表彰式・フォーラムでは、前年度実践団体への表彰、活動事例の発表及び講演会を行い、広く事業のPRを行うことができた。				上半期成果	-						
事業の目的	個性豊かで活力あるまちづくりの実現を図ることを目的として、自主的かつ自発的な公益活動を行っている市民活動団体等に補助金を交付し活動を支援するため。				課題	補助金申請団体のさらなる増加を目指して、事業の啓発や申請の相談を強化する必要がある。				課題	-						
事業の概要	アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体の実施予定の事業に対して、ヒヤリング審査を実施のうえ可否を決定する。事業実施後に実績報告により採択事業の評価を行う。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-		-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-						
	H29環境関連性	-		-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
												事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
												事業費(A)	2,692千円	3,791千円	5,332千円	0千円	
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
												その他特財	1,340千円	2,616千円	4,000千円	0千円	
												一般財源	1,352千円	1,175千円	1,332千円	0千円	
												人件費(B)	5,361千円	5,401千円	5,288千円		
												正職員	従事割合	0.70人	0.70人	0.70人	
												時間外勤務	60.00時間	102.50時間	60.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	8,053千円	9,192千円	10,620千円		
												H30年度当初積算根拠	-				
												H30年度の方向性	-	理由	-		